

## 一般質問

# 市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月3日及び4日の2日間行われました。今定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、登壇者を一会派二人以内に制限し質問時間の短縮に努めた結果、合計10人の議員により議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載いたします。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧ください。

[発言順]



小林 均

[令和創生の会]

## コロナ禍における避難所運営の在り方

### LED電球を活用した高齢者見守りシステム

**問** コロナ禍の中では「分散避難」が重要であり、多数の避難所の開設が必要となる。本市の取組みと、避難者受け入れの優先順位の考えは。

**答** 本年7月、市内7か所の宿泊施設との間で「災害時等における宿泊施設の提供等に関する協定」を締結した。高齢者や基礎疾患のある方、障がい者、妊産婦を対象とし優先順位を検討。

**問** 避難者への感染対策と、避難所運営の方法は。  
**答** 「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所設置・運営マニュアル」を策定し、避難所にお

ける感染症対策を徹底。これら対策に必要な備蓄品の整備を進めており、簡易ベッドの購入経費を補正予算に計上した。

**問** SIMカードが付いたLED電球をトイレに設置するだけの、簡単で、低コストな「高齢者の見守りシステム」導入の考えは。

**答** 大きな財政負担を伴わないシステムであり、高齢者の見守りには、有効な手段であると考えている。実証実験をした自治体もあり、今後、調査研究を進めていきたい。

## 市道・林道・橋梁の復旧は

### GIGAスクール学習は

**問** 市道等の通行止め区間と復旧状況は。

**答** 市道は昨年40路線が通行止めであったが、8月末で27路線が通行止め。林道は岩代3路線・東和3路線の両地域で6路線が通行止めで、入札不調の4件は9月中旬に再入札を予定している。また橋梁流出箇所の状況は、現在実施設計中で年内の発注を考えている。

**問** 森林再生事業の今後の実施予定は。

**答** 市は「ふくしま森林再生事業」に計画的に取り組み、財産区や管理を有する公益性の高い森林



佐久間 好夫

[真誠会]

を選定して市内全域で推進していく。また、当事業は令和7年度で見直される。

**問** タブレット端末の操作指導及び開始時期は。  
**答** 児童生徒が生き生きと学ぶためには、どのような授業が可能か、また、何ができるか教員に具体的イメージを持たせる研修を行うことが重要。授業でタブレット端末の活用により、児童生徒の活用スキルの高まりも期待している。開始時期は早ければ3月からで、今後、学年の復習や学習のまとめに使用できるよう指導する。



## 平栗 征雄

[市政刷新会議]

### 先人館は、持続運営していくのか

### 二本松城址観光施設をどう運営していくのか

**問** 安達ヶ原ふるさと村の先人館施設は、今後も先人の資料展示施設として持続運営していくのか市長の見解は。

**答** 市教育委員会としては、本市を代表する偉人先人の顕著な功績を広く多くの市民の皆さんに知っていただくと共に、それを後世に繋げて顕彰を続けていく事が大切であると考えており、今後も現状のとりの展示を続けていきたいと考えている。

**問** ふるさと村も運営は難しかった、市民交流セ

ンターにも作れなかった市の観光業務は、お城山を本丸として長く市民の交流と市民の潤う顧客の増加を期待したい。市長の考えは。

**答** 年間を通して本市の歴史、文化及び観光等の情報発信と賑わいの創出を図る拠点施設として、現在整備を進めている。本施設の利用価値と満足度を高めていくこと、本市の文化観光の発展に寄与できるよう、今後も関係機関・団体・関係部署等とも連携を図り、事業展開等の計画を立案していきたい。

### コロナウイルス感染症による学習の遅れは



## 安齋 政保

[市政会]

**問** 小学生、中学生の各学年の授業時数は、どのくらいだったのか。

**答** 6月末の調査では、各学校ともに主要教科については、数時間から多くて10時間程度、学習進度に遅れは見られるとの報告があった。

**問** 夏休みが終わった現時点で、どの程度まで遅れを取り戻せたのか。

**答** 本市においては、授業時数よりも学習内容の管理を重点に行ってきた。1学期終了後に行った、各学校への調査では、他の市町村と比べると遅れを取り戻している状態であり、1学期の学習内容は、ほぼ定着することができたとの報告を受けた。これは臨時休業中の家庭学習シートにより家庭学習を進め、臨時休業明けには、日課表を工夫して補充学習を確保したこと。一人一人に対応した個別指導、授業においても学習内容の精選と重点化を図り、基礎基本の定着を図るなど各学校で対応したことによる。指導主事を派遣する学校訪問等により、学校の実情に合った指導助言に努める。



## 本多 俊昭

[令和創生の会]

### 新型コロナウイルス感染症による本市の影響は

### 建設予定の人工芝サッカー場

**問** 新型コロナウイルス感染症による本市の財政状況の見通しは、これまで以上に厳しいものと予測される。このような状況を踏まえ、財政収支を厳密に精査し予算の組み換えと市全体の事業の見直しの考え方は。

**答** 令和元年度決算を受け、繰越金等一般財源が確保されたことで、現時点で感染症対策経費に係る財源を確保するための予算の組み換えや事業の見直しを行うまでには至っていない。今後、感染症対策に要する経費が、国の交付金の限度

額を超えた場合、予備費や財政調整基金等の活用で対応する考えである。

**問** 予算規模も約10億円と膨大であり過疎債を活用した予算措置であることから、事業費の詳細と将来のランニングコストについて伺う。

**答** 杉内多目的広場に人工芝の公認サッカーコート2面を整備する。7月に基本設計が完了し今後、実施設計を進める中で詳細な経費を積算するので、現時点では事業費の詳細、将来のランニングコストについては示すことが出来ない。